

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シーティーエス

コード番号 4345 URL <http://www.cts-h.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横島 泰蔵

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長

(氏名) 佐藤 真一

TEL 0268-26-3700

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	881	9.0	79	36.7	77	31.8	44	24.4
23年3月期第1四半期	809	2.6	58	4.1	58	0.8	35	9.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1,634.96	—
23年3月期第1四半期	1,314.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,374	1,913	56.7
23年3月期	3,658	2,042	55.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,913百万円 23年3月期 2,042百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1,300.00	—	6,500.00	7,800.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	1,300.00	—	1,700.00	3,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年3月期期末配当の内訳 普通配当 1,500円00銭 記念配当 5,000円00銭

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,750	2.1	160	5.6	155	2.8	88	0.3	3,248.40
通期	3,700	3.6	380	6.3	370	4.1	211	5.4	7,781.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	28,000 株	23年3月期	28,000 株
24年3月期1Q	802 株	23年3月期	802 株
24年3月期1Q	27,198 株	23年3月期1Q	27,198 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・	2
(1) 経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・	2
(2) 財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・	3
(3) 業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要・・・・・・・・	4
4. 四半期財務諸表・・・・・・・・・・	5
(1) 四半期貸借対照表・・・・・・・・・・	5
(2) 四半期損益計算書・・・・・・・・・・	7
(3) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の被害に加えて、福島原発事故による電力供給不安など懸念すべき事項も多く、非常に先行き不透明な状況となっております。

当社の主要顧客である土木・建設業界は、公共投資が前事業年度より縮減したことに加え、民間投資に関しましても、企業の設備投資の本格化には至っておらず、引き続き厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社におきましては、当事業年度からの4ヵ年を対象にした新たな中期経営計画を策定いたしました。その中心となる中期経営計画の方針は、「システム・測量計測事業を中心に「建設ICT」分野の専門商社として全国ネットワークを構築する」であります。この方針のもと事業を着実に展開してまいりました。

当第1四半期累計期間の業績につきましては、主力事業でありますシステム事業ならびに測量計測事業が堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同期を上回る実績となりました。

利益面につきましては、主力事業を中心に人員増加策などを実施したことにより販売費及び一般管理費が前年同期に比べ増加いたしましたが、売上高の伸長とレンタル原価の削減に努めたことから売上総利益が増加したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期を上回る実績となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の実績は、売上高881,985千円（前年同期比9.0%増）、営業利益79,776千円（前年同期比36.7%増）、経常利益77,504千円（前年同期比31.8%増）、四半期純利益44,467千円（前年同期比24.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<システム事業>

当事業につきましては、システム機器及びアプリケーション等のレンタル・販売に関して、平成22年10月に開設した大阪支店における受注が順調に確保できたことに加え、既存の営業拠点においても、新規顧客の開拓に注力し積極的な営業活動を展開した結果、受注が堅調に推移し、当事業の売上高は338,886千円（前年同期比11.5%増）となりました。利益面につきましては、売上高の伸長により売上総利益が増加したことに伴い、セグメント利益（営業利益）は43,473千円（前年同期比25.6%増）となりました。

<測量計測事業>

当事業につきましては、測量機器及び計測システム等のレンタル・販売に関して、各営業拠点における販売促進活動の強化並びに中期経営計画の方針に基づき「建設ICT」分野における新たな取組みに注力した結果、受注が順調に確保することができ、当事業の売上高は197,743千円（前年同期比11.7%増）となりました。利益面につきましては、売上高の伸長により売上総利益が増加したことに加え、販売費及び一般管理費についても前年同期並みの実績となったことから、セグメント利益（営業利益）は11,599千円（前年同期比1786.6%増）となりました。

＜ハウス備品事業＞

当事業につきましては、建設現場事務所用ユニットハウス及び什器備品等のレンタル・販売に関して、一部の営業拠点におけるレンタル受注量が増加いたしました。シェア確保のための厳しい受注競争による単価の下落が影響し、当事業の売上高は189,480千円（前年同期比0.9%減）となりました。利益面につきましては、売上高の減少を補うべく、レンタル原価の削減に努めた結果、売上総利益が増加したことにより、セグメント利益（営業利益）は11,359千円（前年同期比37.1%増）となりました。

＜環境安全事業＞

当事業につきましては、道路標示・標識及び環境・景観分野の工事、並びに安全用品のレンタル・販売に関して、工事分野の受注が順調に確保できたことから、当事業の売上高は155,875千円（前年同期比13.7%増）となりました。利益面につきましては、工事分野の売上総利益率が減少したことに加え、販売費及び一般管理費が増加したことが影響し、セグメント利益（営業利益）は13,344千円（前年同期比10.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の財政状態につきましては、総資産が3,374,951千円となり、前事業年度末と比較して283,286千円減少いたしました。

流動資産は1,586,908千円となり、前事業年度末と比較して257,638千円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少152,199千円、受取手形及び売掛金の減少82,062千円などによるものであります。

固定資産は1,788,043千円となり、前事業年度末と比較して25,647千円減少いたしました。主な要因は、リース資産の減少40,964千円によるものであります。

負債は1,461,037千円となり、前事業年度末と比較して154,538千円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少102,755千円、リース債務の減少40,583千円によるものであります。

純資産は1,913,914千円となり、前事業年度末と比較して128,747千円減少いたしました。主な要因は、四半期純利益44,467千円を計上した一方で、剰余金の配当176,787千円を行ったことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は56.7%となりました。

（3）業績予想に関する定性的情報

当第1四半期会計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点での平成24年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	891,909	739,710
受取手形及び売掛金	821,123	739,061
商品	90,397	55,426
半成工事	6,046	10,480
原材料及び貯蔵品	11,440	14,756
その他	54,970	57,825
貸倒引当金	△31,341	△30,351
流動資産合計	1,844,547	1,586,908
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産(純額)	12,448	9,680
建物(純額)	249,897	247,218
土地	730,861	730,861
リース資産(純額)	693,610	652,646
その他(純額)	38,222	34,641
有形固定資産合計	1,725,039	1,675,047
無形固定資産	32,604	50,263
投資その他の資産		
投資その他の資産	57,346	64,031
貸倒引当金	△1,300	△1,300
投資その他の資産合計	56,046	62,731
固定資産合計	1,813,690	1,788,043
資産合計	3,658,238	3,374,951
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	587,072	484,316
未払法人税等	65,469	33,514
リース債務	221,900	215,016
その他	125,782	145,659
流動負債合計	1,000,225	878,507
固定負債		
リース債務	481,723	448,023
その他	133,627	134,506
固定負債合計	615,350	582,529
負債合計	1,615,575	1,461,037

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	425,996	425,996
資本剰余金	428,829	428,829
利益剰余金	1,252,078	1,119,759
自己株式	△66,324	△66,324
株主資本合計	2,040,578	1,908,259
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,083	5,654
評価・換算差額等合計	2,083	5,654
純資産合計	2,042,662	1,913,914
負債純資産合計	3,658,238	3,374,951

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	809,396	881,985
売上原価	487,916	521,100
売上総利益	321,479	360,884
販売費及び一般管理費	263,106	281,107
営業利益	58,372	79,776
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	315	230
受取地代家賃	900	540
受取保険金	1,899	1,174
その他	961	546
営業外収益合計	4,091	2,503
営業外費用		
支払利息	3,232	4,368
その他	408	407
営業外費用合計	3,640	4,775
経常利益	58,823	77,504
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7,071	—
特別利益合計	7,071	—
特別損失		
固定資産除却損	39	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,177	—
特別損失合計	3,216	—
税引前四半期純利益	62,678	77,504
法人税、住民税及び事業税	18,383	31,985
法人税等調整額	8,548	1,051
法人税等合計	26,931	33,036
四半期純利益	35,746	44,467

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。